

平成30年度予算における教育分野の
主な取組について

(1) 小中一貫教育推進事業について

～「社会をたくましく生き抜く力」を育む

塩竈市独自の小中一貫教育の推進～

平成29年度小中一貫教育の成果検証・・・・・・・・P1

平成30年度小中一貫教育の取組・・・・・・・・P4



第1回塩竈市総合教育会議

「社会をたくましく生き抜く力」を育む
塩竈市独自の小中一貫教育の推進

学校教育課

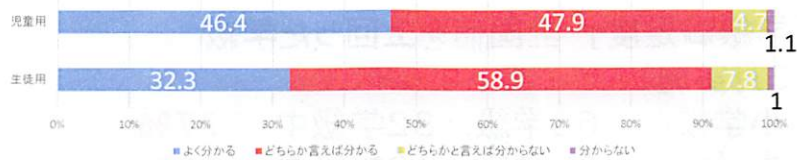


平成29年度小中一貫教育の成果検証(4つの指標)

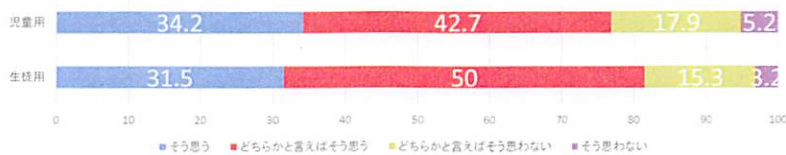
①授業満足度(国語)

児童生徒対象アンケート調査

①国語の授業は、よく分かりますか。



②国語の授業は、楽しいですか。



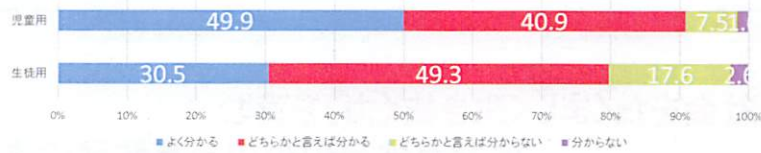


平成29年度小中一貫教育の成果検証(4つの指標)

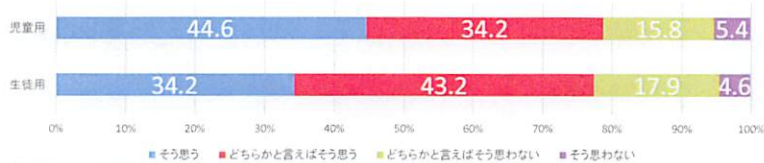
①授業満足度(算数・数学)

児童生徒対象アンケート調査

③算数・数学の授業は、よく分かりますか。



④算数・数学の授業は、楽しいですか。



平成29年度小中一貫教育の成果検証(4つの指標)

②学級生活満足度 (Q-U調査結果)

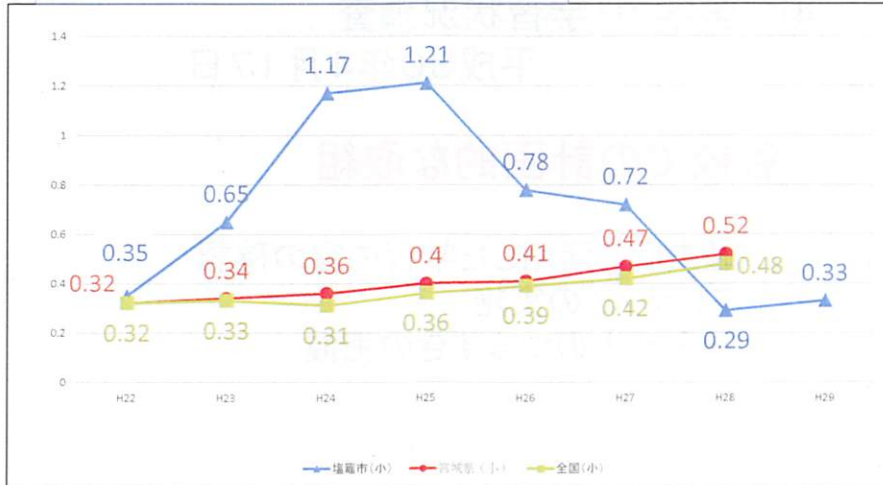
「学級満足度」全国値を上回った学級
(3月実施)

小学校 63学級／82学級中 77%
中学校 35学級／40学級中 88%



平成29年度小中一貫教育の成果検証(4つの指標)

③小学校における不登校出現率



平成29年度小中一貫教育の成果検証(4つの指標)

中学校における不登校出現率





平成29年度小中一貫教育の成果検証(4つの指標)

④全国学力・学習状況調査

平成30年4月17日

各校での計画的な取組

- ・過去問を活用した学習内容の確認
- ・プレテストの実施
- ・一人一人のつまずきの把握



平成30年度小中一貫教育の取組

「学びの共同体」の教授法を導入

子どもの「学びに向かう力」「学び合いの力」を活用した授業

- ◎分かる子も、分からない子も「学びに向かえる」授業
- ◎子どもの「分からない」をつなぐ授業
(対話で学びを深める)

「一人も見捨てない授業」の実現を目指す



平成30年度小中一貫教育の取組

学びの共同体 による授業づくり

共有の課題とジャンプの課題で授業をデザインする

「共有の課題」

一人一人の確実な内容理解

「ジャンプ課題」

基礎的な知識を活用した
子どもたちが夢中になれる
挑戦的な学び



平成30年度小中一貫教育の取組

学びの共同体 による授業づくり



「コの字型の教室配置」



「男女混合4人グループ」



平成30年度小中一貫教育の取組

学びの共同体 による授業づくり

◎小学校・中学校ともに全教科等で実施する

- 小学校では、国語と算数を中心に進める
- 学習形態は、コの字型の座席配置、
ペアやグループでの 学び合いを基本とする
- 教科の特性、単元や題材、学習内容に応じて
工夫する



平成30年度小中一貫教育の取組

学びの共同体 による授業づくり

◎各中学校区での授業研究会の実施

- (例)
- ①授業実践(授業公開と参観)
 - ②研究授業(参加者全員で参観)
 - ③事後検討会
研究授業についての話し合い
外部講師を招いての指導・助言



平成30年度小中一貫教育の取組



塩竈で学び、育つすべての児童生徒のために

教員の指導力の向上、児童生徒理解を深めるために

(2) 勝画楼保存活用推進事業等について

勝画楼保存活用推進事業について・・・・・・・・P11

肯山公遠忌300年記念事業について・・・・・・・・P11

勝画楼保存活用推進事業

(1) 概要

勝画楼については、平成 29 年 3 月から文化財建造物としての価値を適切に把握するための調査により文化財建造物としての価値が判明したことから、同年 10 月に所有者である志波彦神社・塩竈神社から無償譲渡いただきました。

平成 30 年度は、外部の有識者等による検討部会を含めた「(仮称)勝画楼保存・活用検討委員会」を設置しながら、今後の適切な保存・活用に向けて取組むこととしています。

(2) 平成 30 年度取組み

- 保存・活用に向けた建物の痕跡調査や古文書等文献調査
- 危険箇所の除去、風雨等による腐食・損壊の防止のための修繕設計、工事
- 市文化財指定

(3) 事業費

29,937千円

<内訳>	修繕費	24,997千円
	保存計画調査費	4,440千円
	環境整備費	550千円

肯山公遠忌 300 年記念事業

(1) 概要

仙台藩 4 代藩主・伊達綱村肯山公は、火災や不作などに苦しむ塩竈の保護政策として、藩米以外の荷物や魚介類・材木を積んだ船は、すべて塩竈港に着岸することとする『貞亨の特令』を発しました。

平成 30 年度は、塩竈の発展に尽力した肯山公の遠忌（おんき）300 年にあたることから、その功績を後世に語り継ぐための記念事業を行います。

(2) 主な記念事業

- シンポジウムの開催：肯山公の功績とこれからのまちづくり・ひとづくりについて。
- 顕彰碑の建立：肯山公の功績を後世に語り継ぐための顕彰碑。
- リーフレットの作成：肯山公ゆかりの品を紹介するリーフレット。

(3) 事業費

3,000千円

(3) 塩竈アフタースクール事業について
(わくわく遊び隊)

平成 29 年度の実施状況及び成果について・・・P15

平成 30 年度の取組について・・・・・・・・・・P15

塩竈アフタースクール事業（わくわく遊び隊）

（１）概 要

小学校の放課後に；運動要素を取り入れたレクリエーション活動等を行うわくわく遊び隊は、平成28年6月に、塩釜市体育協会、スポーツ推進委員、塩釜FCの3者によって組織された「わくわく遊び隊運営委員会」が実施主体となって玉川小学校で発足しました。

平成29年度は、塩釜市体育協会に委託し、塩竈市浦戸を除く全小学校への拡充が図られました。

（２）平成29年度実施状況及び成果

会場	児童数	期間	開催回数	指導講師所属団体
一小	37人	11月～2月	9	体協、塩釜FC、市サッカー協会、還暦野球
二小	36人	11月～2月	9	体協、アトム体操教室、塩二小ソニック
三小	41人	10月～2月	10	体協、市バス協、三小PTA、スポ少ミニバス
月小	58人	6月～2月	22	スポーツ推進委員、体協、塩釜FC
杉小	41人	10月～2月	10	体協、塩釜FC、市バレーボール協会
玉小	81人	6月～2月	20	スポーツ推進委員、体協、塩釜FC

OPTA 役員等の参画のもとに各小学校に運営委員会が組織され、幅広い指導講師の参画していただきました。

＜参加者アンケート調査より＞

- ・わくわく遊び隊に入った児童98%に、『楽しかった』と感じてもらいました。
- ・保護者の97%に、『運動・レク中心の活動内容(特にスポーツ系)が適切』だったと評価されました。
- ・保護者の50%が、運動能力の向上以外にも、『児童の生活習慣上の好ましい変化があった』と感じており、主な内容として「食欲旺盛43%」、「早寝37%」等です。
- ・保護者の99.6%が、「安心して子どもを預けることができた」との回答があったことから、事業が目指す安全安心で楽しく過ごせる居場所づくりが実現できました。

（３）平成30年度の予定

指導講師の確保及び地域と学校との連携等に留意しながら、各校通年で実施いたします。

時 期	項 目	内 容
4月	学校協議	日程確認等
5月	6校各運営委員会の開催	指導講師、日程、実施内容、活動費、募集方法等の決定 募集開始
6月～31年2月	わくわく遊び隊	活動実施